

人材育成の観点から考える ものづくりニッポンの これから

金属産業は、DX、カーボンニュートラルへの対応が求められるなど大変革期にある一方で、ものづくり離れや人材流出が加速し、人手不足が深刻化している。日本のものづくりの永続的な発展のためには、人材の確保・定着が必須であり、「人材育成」が大きな力ギとなる。

今号では、学校教育、企業の育成プログラム、産官学一体となった地方での取り組み、海外におけるリスクリング支援など、様々な観点から人材育成のあり方を考える。

